

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスおひさま

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		個性を大切にし、自分を愛し他者も愛する。希望に満ちたのびのび豊かな心を共に創っていく						
支援方針		子ども社会を通して様々な体験、経験を過ごす。たくさんの“人” “もの” “思い” に触れる環境を作りひとりひとりの個性を大切に発見や気づき子どもたちの“やってみよう” “できた” 気持ちを支援していく						
営業時間		12時	30分	19時	00分	送迎実施の有無	あり	なし
		支援内容						
本人支援	健康・生活	特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるようにきめ細かな観察を行う身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄など生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する						
	運動・感覚	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。外出や事業所外活動を通して身体能力の向上を支援する						
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。						
	言語コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。絵カードや文字表を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする						
	人間関係社会性	周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して徐々に社会性の発達を支援する。 感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する						
家族支援		家族、各関係機関、事業所との情報共有を行う。 家族のお困りごとに対応できるよう相談援助を行い必要があれば各機関が集まり会議を行う			移行支援		移行先との支援内容の共有や必要に応じて会議を行う	
地域支援・地域連携		地域イベントへの参加や、お散歩や戸外遊びや外出の機会を通して地域の方との交流の機会を積極的に作る 訪問看護に来ていただき健康チェックを毎日行う			職員の質の向上		勉強会への参加法定研修（感染症対策研修・虐待防止・身体拘束研修危機管理研修・災害研修など）	
主な行事等		長期休暇の外出活動（プールや遊園地）七夕、ハロウィン、クリスマスなど						